

平成31年1月21日

公益財団法人どうぶつ基金  
理事長 佐上 邦久 様  
Change org 筆頭呼びかけ人  
NPO法人ゴールゼロ  
ノネコ支局あまみのひっこし応援団  
代表 齊藤 朋子 様

奄美大島ねこ対策協議会  
会長 平田 博行



回答書

平成30年12月13日に受け付けた要請について下記の通り回答します。

記

【要請1】

奄美大島ねこ対策協議会は奄美大島のノラ猫の推定生息数を5000-10000頭、奄美市においては7000頭と発表していますが、実際の生息数は推定生息数よりも大幅に少ないのではないかと疑義が生じています。奄美5市町村各々のノラ猫推定生息数の根拠となった調査方法および調査結果をご教示ください。

【回答】

(奄美市)

※算定方法

- 平成27年度名瀬地区のTNR実施頭数・・・・・・・・・・A
- 平成27年度TNR実施地区(町)の合計宅地面積・・・・B
- 生息密度(匹/m<sup>2</sup>) A/B・・・・・・・・・・・・・・・・・・C
- 奄美市全体の宅地面積(m<sup>2</sup>)・・・・・・・・・・・・・・・・D
- 推定生息頭数：C×D

(大和村)

※算定方法：目視や聞き取り調査などを行い、推定頭数を推定した。

(宇検村)

※算定方法：目視や聞き取り調査などを行い、推定頭数を推定した。

(瀬戸内町)

※算定方法：目視や聞き取り調査などを行い、推定頭数を推定した。

(龍郷町)

※算定方法：目視や聞き取り調査などを行い、推定頭数を推定した。

**【要請 2】**

協議会は推定生息数5000-10000頭のノラ猫への対策としてTNRを実施していますが、手術頭数は年間1000頭程度に過ぎません。TNRによりノラ猫を減らすには、生息数の70%以上に手術を施し、毎年その割合を維持していく必要があります。生息数が推定どおりであれば、年間1000頭程度のTNRによってノラ猫の減少をもたらすのは不可能です。どうぶつ基金が徳之島3町と協働で行った「徳之島ごとさくらねこTNR」のように奄美5市町村が協働して、1年間で奄美に生息するノラ猫の70%以上を捕獲し「あまみのさくらねこ病院」に運搬して、不妊手術、ワクチン、ノミダニ駆除を無料で受けさせリターンするよう要請します。

**【回答】**

現在は各自治体が野良猫対策を進めています。来年度からは、奄美大島ねこ対策協議会が主体となり計画的に野良猫対策事業を進めます。

以上